

山筆

第46号／2009年7月

土佐中・高等学校同窓会 関東支部会報

編集人/西岡 恒憲 (41回)

編集室：〒106-0032 港区六本木3-16-12-7F 六本木司法書士合同事務所気付 編集委員 鶴和千秋 (41回)

TEL 03-3587-6200 FAX 03-3587-6201 E-mail: tsuruwa@rsg.gr.jp

関東支部ホームページ：http://www.tosako-kanto.org/



高知駅新駅舎〔高知：41回田口保雄特派員撮影〕

友達を連れて高知に遊びに帰ろう！

― 観光業をテコに高知県経済の活性化を ―

前田憲一 (37回生)

土佐高を出てから県外住まいも50年近い。年とともに高知が好きになる。ひろめ市場ができてからますます好きになった。県外の人から「高知県がふるさとなんてすごい特権ですね」とか「一度四万十川のほとりでゴルフをしたい」とか言われたこともある。逆に札幌勤務時代には「前田さん、高知県の県庁所在地はやはり土佐市ですか？」なんて聞かれた。そうなんだ、県外の人が高知県のことはよく知らないが、漠然としたあこがれを感じているのだ。自分も彼らには「同じ四国でも四国山脈の南と北では大違い、まず太陽の輝きが違いますよ」と応える。高知県経済の活性化にH2550可能な観光資源を活用するのは有力な策のひとつだ。

日経のインタビュー「領空侵犯」で「町づくりは『よそ者』に任せよ」とあった。「よそ者」のほうが地元の良いを発見できるから、とのこと。確かに高知に住んでいると気がつかないが、高知には素晴らしい観光資源がたくさんある。まず豊かな自然、人情と食べ物のおいしさ。高知県の観光資源の中でも食のおいしさは常にトップらしい。我々の誇る多くのユニークな人物に彩られた歴史、そして素晴らしい気候、晴れ率日本一とか。

これらを使い高知県を年中県外からの観光客で一杯にできないだろうか？ まず年中何か観光キャンペーンをやろう。例えば、

春：緑の高知のお城祭りと城下の日曜日市へどうぞ、とか

夏：よさこい祭りと若人の夏スポーツ大会、遠泳大会・相撲大会・サーフィンなど

秋：清流四万十川と紅葉の高知へ

冬：冬でもあったかい南国土佐へ

そして一年中晴天下でゴルフを！など。

広く県外在住の高知県出身者に呼びかけ協力してもらおう。毎年11月錦糸町のホテルでの高知県人会の熱気はすごい。みんな高知が好きで懐かしいから集まるのだ。まず彼らに出来るだけひんぱんに帰省してもらおう。そして帰省

する際には出来るだけ多くの家族・友人を連れて帰ってもらおう。県外在住の高知県人が所属した学校・大学・勤務先での同窓会・同期会・仲良しグループなどの集まりを出来るだけ高知で開いてもらう。そういった素人観光プロモーターには特典も用意する。例えば土佐中・高等学校同窓会関東支部登録者は約3000



竜馬像と竜王岬【田口特派員撮影】

山に来てもらい、よさこい祭りの最終日には「南国土佐をあとにして」だけのカラオケ全国大会を。彼女が引退したら第2のペギー葉山を育てる。

(6) 一度準備したら台所に戻る必要がないように、と酒豪の女性が考案した料理が前菜からデザートまで一緒に出す「皿鉢料理」と聞いた。酒好きの女性にはうってつけの料理ではないか。「はしけん」とともに高知独特の食文化だ。「まんが甲子園」にならない、「皿鉢料理コンテスト」、「皿鉢料理の作り方教室」なども良いかもしれない。知事杯を目指す「はしけん全国大会」などはどうだろうか？

(5) ひろめ市場はシンガポールのニュートン・サーカスの高知版として最高だ。帯屋町商店街も金・土・日には夜9時までオープンしてもらい一杯機嫌の観光客の買い物に軌道に乗るまで商店街には協賛金を支給。

これらのうちすでに実行済み企画もあるだろう。土佐高の二人の先輩が高知駅を「森の中の駅」にする運動を始めた。五台山の牧野植物園を生かし高知市の「植物園シテイ」化構想も提唱されているようだ。すでに実行済みの民間・行政ベースの運動を体系化・組織化し、県・市が中心になり旅行業界などとタイアップし、帯屋町を中心とする地元商店街再生への意欲に火をつけ、昔の活気を取り戻して欲しいところだ。そしてそれは県外にいる我々にも充分応援できそうだ。

〈総会・懇親会繁盛記〉
事務局長 二宮 潔(49回生)
半年ぶりの活動報告です。いつも前号で何を書いたか確認します。いま話題の世襲議員の代表格「官僚A内閣」はどうとう「国際大相撲」並みに、制限時間一杯まで生き延びてしまいました。裁判員制度も始まったし、序でに「内閣審査員制度」もスタートさせては如何か。

さて、4ページの総会写真集やホームページでご紹介の通り、今年の『関東支部総会・懇親会2009』は6月6日(土)、郷土にゆかりの深い岩崎家の別邸、現在は三菱グループのゲストハウス『三菱開東閣』(港区高輪)で開催されました。大都会のド真ん中に位置するも、その喧騒を忘れさせるエリザベス王朝様式の荘厳な洋館と見事な薔薇園を配する広大な庭園に雨上がりの週末、半日貸切で大学生50名を含む16回生、84回生までの同窓生270名が大集合。

今年の企画・進行役は「下



六月の日曜市と高知城(田口特派員撮影)

経済の勉強の場にしてもらう。

「土佐高校コーナード」とか「土佐女子商店」と

(2) 「竜馬サミット」を毎年

開きゲスト囲み竜馬の研究を！

(3) ペギー葉



清流四万十川と沈下橋【田口特派員撮影】

(株)島津インターナショナル代表取締役社長

(2009年5月)

今年度の企画・進行役は「下

「1桁9の回生」。有志代表が3月下旬から僅か2ヶ月余りの期間で、合同準備会を4回、回生(役割分担)毎の集まりを数回行うと共に、ITを駆使した効率的な運営で10年に1回の大役を無事に果たしました。

前半の「総会」は、池上校長(28回)以下5名の先生方に加え10名の本部・各支部代表のご来賓をお迎えし、泉谷支部長(29回)の歓迎挨拶に続き、市川幹事長(53回)より前年度支部活動報告ならびに今年度活動方針のポイントを説明、そして金澤会計(55回)・野村監査(29回)より会計・監査報告のあと、池上校長の学事報告を拝聴。今春の大学進学率も着実にレベルアップが図られたこと、併せてスポーツ・文化活動においても顕著な活躍が見られたことなど、大変明るい展望をご紹介頂きました。「東大合格者9名中6名が女性で、今や母校は土佐女子高校になりかけちゃいます」の軽妙なオチに会場がドッと沸きました。安岡本部幹事長(39回)からも創立百周年事業の進捗ぶりや、第二期工事の中学校棟が6月末に竣工する新校舎建

築募金の状況報告があり、ました。5カ年計画の2年を経過し、目標4億円に対し3月末現在2億3600万円(59%)の募金が集まりました。内、同窓会からの募金は目標額をほぼ達成したものの、企業・団体募金の集金に苦戦との報告でした。(ちなみに、関東支部は目標額ピッタリの3千万円をクリア。)今年のホームカミングデーは8月15日(土)、新校舎竣工式典は創立記念日の大安11月18日(水)に行われるそうです。

さらに関東支部では、今年も8月30日(日)のガーナよさこい(代々木・原宿)に、11月7日(土)の「学生・若手社会人交流会(東大駒場キャンパス)」と季節イベントが控えています。

最後に宮地貫一同窓会長(21回)が、「筆山ホール」(300名収容・新体育館とは別)有効活用のアイデア募集に関するお願いを呼びかけ、盛り沢山の議事を終了後、恒例の「講演会」に移りました。今年(財)日本経済研究所専務理事でJリーグ理事も勤めるマルチタレント、49回生の傍士銃太さんに「スポーツが国の成り立ちを変える」

サッカーも野球も」と題し、スポーツ価値感の変化、世界の先進国における地域密着型スポーツの持つ力、わが国におけるスポーツのあり方、次世代の子供たちへの地域スポーツの継承など、1999年に車のご当地ナンバー発案者でもある傍士さん、とても愉快で明快な理論をご披露頂き「これからは地方の繋がりの時代、浦和区(レッズ)が世界3位になった。高知も世界に繋がるように!」と締め、百名を超す聴講生から拍手喝采を浴びました。ちょうど同日深夜に予定されていたサッカーW杯グループ予選「日本VSスウェーデン」(アウチ)の直前予想を伺ったところ、Jリーグ理事サン曰く「大丈夫、大丈夫!」って。(結果は苦戦の末1・0で勝利し、代表の座を射止めたのです。)

傍士さんは最後に「講演謝礼は全額建築募金に寄付しますき!」と。今まで募金するの忘れちよったがやな!ほかに忘れちゆう御仁は居らんかよ?

「総会」に続いて、豪華な幾つもの広間を繋いだ宴会場に移動し、ご来賓の紹介と宮地会長による開会挨拶、最年

長の曾和純一さん(16回)による乾杯の音頭で総勢270名による「大懇親パーティー」がスタート。79回生の名コンビ、中澤梨佐さん・柳川敦志さんによる司会で、よさこい「陽」の永田智弘君(83回生)による代表挨拶に併せ、メインホールの大スクリーンには昨年(のよさこい)中継が放映されたり、11月の「学生・若手社会人交流会」大宣伝ポスターが映し出されたり、さらには母校オーケストラ部が12月東京開催の全国大会に出場することが決定したというビッグニュースを、DVD放映付きで西峯先生がご報告下さいました。中盤には大学1年生(84回生)35名がステージに上がり、岡村康平君の誠実で活気溢れる決意表明に应えて、浜口和也さんと北村文典さんの39回生コンビによる激励と音頭取りで先輩たちから「応援歌」の合唱プレゼント。開東閣自慢の格別に美味しい料理に舌鼓を打ちながら、胸に「ひよこマーク」を着けた84回生を除く(?)参加者は大いに酔いしれ、あつという間の「大満足の2時間」。最後は「9の回生」(代表:29回小笠原博幸さん)から「0

の回生」(代表:30回浅井伴泰さん)に支部旗が渡り、晴れて「9の回生」はお役御免と相成りました。さつそく「0の回生」は隠し玉、フジTVイケメン・アナウンサーの卵、80回生谷岡慎一君をステージに上げ「来年の総会は6月5日(土)、霞ヶ関ビル35階の東海大学校友会館で賑々しく開催します!」と大宣伝。すると79回生の司会者コンビも負けずに「大町桂月碑文」を誦んじるエールの第一人者、安岡範悦本部幹事長にご登壇をお願いし、校歌斉唱に一本締め(三・三・七拍子を一回)で中締めとなりました。ご参加のハチキン夫人たちからは「おしやれで、美味しくて、楽しくって最高でした!」とお褒めのお言葉を多数頂きました。

来年の『関東支部総会・懇親会2010』も乞うご期待!まつこと参加せんと損ぜよ。来年も霞ヶ関ビルのてっぺんで待ちゆうきね!

※関東支部HP
<http://www.tosako-kanto.or.jp/> をご覧下さい。

(2009年6月10日)

平成21年度土佐中学・高等学校同窓会関東支部総会及び大懇親会

平成21年度土佐中学・高等学校同窓会関東支部総会及び講演会・大懇親会は、6月6日(土)、高輪の三菱グループ迎賓館「開東閣」にて行われました。270名余の同窓生が参集し盛大に挙行されました。

母校から池上武雄校長先生をはじめ、同窓会本部・各支部から多数のご来賓にお越し頂きました。



池上校長の学事報告

今年の記念講演は、

(財)日本経済研究所専務理事でJリーグ理事でもある傍士銑太氏(49回)の「スポーツが国の成り立ちを変える」と題す



る講演でした。ご自分の経歴・経験を含めながら、約一時間語っていただきました。同窓生一同熱心に聴講いたしました。



講師の傍士さん

今年は9の回生(29、39、49、59、69、79)の同窓諸君による総会・懇親会の運営がなされました。

大懇親会は、郷土ゆかりの元岩崎家別邸で、エリザベス王朝様式の建物の広間で美味しい料理を頂きながら、新旧同窓生、一年ぶりの再開を楽しみました。

大懇親会



司会は79回生



曾和純一さん(16回)による乾杯の音頭



宮地本部会長の開会の挨拶





壇上で今年卒業の84回生が紹介される



84回生と指導の先生方が一緒に記念写真に納まる



北村文典さん（39回）の指揮で
84回生に対する応援歌を斉唱



最後は恒例の校歌斉唱！



9の回生から0の回生への総会幹事役の引継ぎ式
来年はよろしくお願いします！

母校だより

学校長 池上 武雄 (28 回生)

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

いつも母校に対し熱い思いをお寄せいただき、格別のご支援を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。

◇大学入試結果について

本年卒業の84回生は、従来の土佐高生受験パターンの理系優位とは異なり、文系優位の状況でセンター試験に臨みました。結果は全国総合平均点は昨年比マイナス20点という状況で、本校理系は昨年比マイナス19点、文系は逆に昨年比プラス6点でした。

大いなる期待と若干の不安が入り交じる中で本番に臨みましたが、結果はその不安を吹きとばしてほぼ昨年並みの成績をあげてくれました。また、国立難関10大学・国公立医学部医学科の合格者73名中、女子31名と頑張ってくれたことは特筆すべきことです。

なお、現高3生の志望調査(4月現在)では国立難関10大学132名、国公立医学部医学科63名、計183名(重複12名を除いて)が挑戦希望であり、私の目指す「難関10大学・プラス医学部・医学科で100名の合格を」というのもあながち夢物語ではないと大きく胸を膨らませております。(とうとう期待)

重複12名を除いて)が挑戦希望であり、私の目指す「難関10大学・プラス医学部・医学科で100名の合格を」というのもあながち夢物語ではないと大きく胸を膨らませております。(とうとう期待)

	21年度	20年度
現役合格率	66.8%	72.8%
国立難関10大学	48名 (現25名)	55名 (現31名)
国公立医学部		
(医学科)	25名 (現14名)	21名 (現11名)
早慶上智	62名 (現37名)	59名 (現30名)
関関同立	157名 (現95名)	185名 (現111名)
国公立現役合格	104名	105名

(注) 難関10大学 (北海道・東北・東京・一橋・東京工・名古屋・京都・大阪・神戸・九州)

◇高校県体の成績

5月16日から3日間の日程(水泳競技は6月13日・14日)で第62回県体が開催されました。本校からは326名(含む水泳競技)が参加し、よく健闘いたしました。(例年通

り参加人員数は本校が参加校49校中トップでした。)団体優勝は、男子ハンドボール(2年連続)、女子テニス(3年連続)、登山の3部。個人では、陸上競技男子400m、400m障害、女子400m障害、柔道男子個人90kgログラム級、自転車競技1kmトライアル、スプリント、チームスプリントで優勝を飾ることができました。なおインターハイは、7月28日から「2009近畿まほろば総体」と銘打って近畿一円で開催されます。母校の名誉を担う活躍を大いに期待しているところです。

◇新校舎建築プロジェクトの進捗状況

第二期工事は天候にも恵まれ順調に進んでおります。現在工事中の中央棟(エントランス部分)及び中学棟は6月中旬には完成、6月20日に引渡しを受けます。中学棟への移転は6月28日、29日の2日間で行われ中学生等が待ちに待った新校舎での授業が7月から始まります。

その後夏休みを中心として旧中学棟、旧体育館のアスベスト除去、取り壊しが行なわれ運動場として整備され11月中には全ての工事(一部植栽を除いて)が完成します。従いまして新校舎落成記念行事を本校開校記念日でもある11月18日(水)に行うことを予定し、準備をすすめております。ぜひ高知にお帰りの機会に新校舎をご覧いただきたいと存じます。多くの同窓生の皆様方のご支援(平成21年3月末、新校舎建築募金は、総件数3428件、金額235975千円です)によって立派に立ちあがりましたことを心より感謝申し上げます。なお引き続き募金活動は、平成24年3月末まで継続されますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

暑さに向う折柄皆様様の健康勝、ご活躍を祈念申し上げます。(平成21年5月末)

本部だより

副会長 北村恵美子 (47回生)

関東支部の皆様、こんにちは。いつも同窓会活動にご理解・協力下さいまして、有難うございます。6月6日の関東支部総会は、大盛会でした。郷土ゆかりのもと岩崎家

中には全ての工事(一部植栽を除いて)が完成します。従いまして新校舎落成記念行事を本校開校記念日でもある11月18日(水)に行うことを予定し、準備をすすめております。ぜひ高知にお帰りの機会に新校舎をご覧いただきたいと存じます。多くの同窓生の皆様方のご支援(平成21年3月末、新校舎建築募金は、総件数3428件、金額235975千円です)によって立派に立ちあがりましたことを心より感謝申し上げます。なお引き続き募金活動は、平成24年3月末まで継続されますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

別邸で現在三菱グループの迎賓館として使われ、普段は一般公開されることのない開東閣での開催とあって、呼びこみなしで、300人近い参加者だったとお聞き致しました。そんな会場で開催できるということ、本当に土佐のすごさを感じます。「9の会」の皆様、お疲れ様でした。そして有難うございました。

さて、本部も負けてはいられません(笑)。昨年からは、関東に做って、西暦の下1ケタの若手回生が実行委員会を組織し、ホームカミングデーを運営しております。今年は「9のつく回生」を中心に50回生、60回生代で組織しました。今年の委員長は49回生の谷晃さん、副委員長に北澤圭さん(59回)、島崎留瑞さん(60回)で、6月10日実行委員会が開催され、今年で6回目となるホームカミングデーの運営について、話し合われました。開催日は8月15日(土)、13時から新校舎にて行います。夜は、場所を新阪急ホテルに移し、大懇親会を行います。今年のテーマは「めざましい進化を遂げる、我が母校。新生・土佐校に、熱いエールを!」。ついに新

校舎が完成しますので、おいで下さった同窓生には、学校のご協力を得て、新校舎探訪をしていただくことになっていきます。(ホームカミングデーの詳細は最後に記します。)

この筆山が発行される頃には、中学棟への引越しが終わり、ひととき輝く校章が設置されたガラス張りの筆山ホールもお目見えします。このホールは300人収容可能。普段は二つに分けて大教室(おなじみの406教室が二つのイメージ)として使用されますが、講演会や演奏会としても、これから大いに活用されることでしょう。同窓会としても、OBの方たちに生徒対象の出



ホームカミングデー若手実行委員会

前授業をするだけでなく、同窓会活動発展のために講演や演奏、文化教室等を開催させていただけたらなあと考えております。このホールから筆山を見渡せるというロケーションは、なかなか憎い(笑)。

夏休みに旧体育館と現中学棟の解体がなされ、11月には竣工と相成り、落成式典も計画されています。

新しくなったのは土佐校だけではありません。「鉄道高架化に伴うJR高知駅周辺都市整備の一環として、高知市が昨年7月から整備していた同駅南口広場が完成(巻頭写真)。バスターミナルがある北口と、路面電車が発着する南口がつながり、交通結節機能が向上。「駅舎の中を南北の風が吹き抜ける(高知新聞5月15日付)」、なんとも開



筆山ホール

放感溢れる高知駅となりました。表の南口の西には、来年の大河ドラマ「龍馬伝」のパビリオンが、東には大型家電量販店が年末には完成する予定です。

故郷がだんだん遠くなっている、関東在住の同窓生のみなさん、今年のお盆は、是非高知に帰省してみてください。なんでも下から二番目の高知県ですが、尾崎正直知事(61回生)を筆頭に、高知県活性化のために土佐校OBがこじやんと踏ん張っています。今年の夏は「高知へ帰ってみんなえ!」

★2009ホームカミングデー・スケジュール(54回生30周年記念同窓会同時開催)

13:00~14:00 同窓会総会(筆山ホール)
14:10~15:00 恩師による懐かしの特別授業(二名同時進行・交渉中)

15:00~15:30 新校舎見学
食堂(なんと冷房付き)を休憩室とし、初のバザーを開催予定

18:00~ 懇親会(新阪急ホテル花の間)

※案内は7月中旬に発送致します。

★来年は90周年記念名簿発行

の年です。秋の調査のご協力を宜しくお願い致します。

北海道支部だより

幹事 和田健夫(44回生)

関東支部のみなさまこんにちは。母校の創立100周年記念事業の準備も順調に進んでいるようでご同慶の至ります。北海道支部も、有力な会員が次々と北海道を離れるなか、若手の会員を糾合してがんばっております。

昨年9月6日北海道支部総会を小樽朝里川温泉(小樽にも温泉があるのです)で開催いたしました。一昨年の総会では台風の到来で一部の来賓の方々がご欠席という事態になりましたが、今回はそのようなこともなく、本部及び関東、広島、東海の各支部の方々のご参加を頂くことができたこととなりました。前夜祭なるものも企画され、小規模ながら洒落た小樽市内の寿司屋で母校の思い出などを語り合いました。ご参加の皆様にご挨拶申し上げます。

今年の3月、支部長の池川昌弘支部長(北海道大学大学院工学研究科教授)と郁子夫

人(お二人は39回の同期生です)の送別会を行いました。

池川先生ご夫妻は、郷里の高知に戻られました。お二人のご健勝をお祈りしております。

北海道支部は、同窓会のみなさまのご来道を歓迎いたします。北海道の景気は最悪、失業率は全国一高く、札幌市以外の都市は苦境に立たされています。景気は悪くても、自然、風景、味覚、気候などは一味一見の価値があると思います。お待ちしております。

東海支部だより

幹事 奥田 浩太郎(77回生)

初めて同窓会の支部便りを書くことになりました東海支部の奥田浩太郎と申します。よろしくお祈り致します。

東海支部では5月16日に今年の総会を開催いたしました。関東支部からは市川幹事長にご出席いただきありがとうございます。

私は今まで懇親会と県人会には参加した事がありました。が、総会は初参加でした。来賓として馬路村の上治村長が、いらつしやるとは聞いておらず驚きました。というのも、

私、ゴールデンウィークに高知に帰省しておりました。友人や職場の方へのお土産に馬路村の品を購入して戻って来たばかりです。

高知駅もリニューアルされており、見違えるようでした。さらに、駅前にオープンする店の経営者が、同窓の友人と後日聞いて仰天でした。世間は狭いものですね。上治村長に用意して頂いた数々のお土産のおかげで、総会も大いに盛り上がりました。まさか、



バッグまで作っているとは存じておりませんでした。私も柚子のお茶と唐辛子で、美味しく食事を頂いております。さて、昨年のサブプライム

ローンによるリーマン破綻の影響で、今年は100年に一度の不景気と言われて久しいです。愛知県は、製造業を中心に業績の悪化が著しいです。そのために、仕事はあるが希望している仕事に就けない雇用のミスマッチが大幅に増大しております。

ちょうど、私もその頃に転職を経験いたしました。転職活動は、率直に申し上げて非常に大変でした。新卒の時と違い、大学の援助も無いので全く手探りの状態でした。ただ、振り返って見て良かったと思える事が一点あります。それは同窓の先輩、後輩たちのありがたみです。転職活動の最中に、気分が落ちこんだ事は一度や二度ではありません。一時期は、意欲が全く無くなり転職フェアの会場に行っただけに帰宅してしまう時もありました。そんな状態の私を心配してくれたのか、先輩や後輩から随分と励ましてもらいました。ある先輩には、ドライ

ブに誘って頂き車中で色々話を聞いて頂きました。後輩たちが、焼肉に誘ってくれて学生時代の思い出が弾みました。

いつまでも周囲に心配をかけてばかりでは良くないと、気を取り直し改めて活動を再開しました。まず、ハローワーク主催の若者向け支援セミナーに参加しました。同じ目的を持った方と励ましあいながら、しばらく過ごしました。現在の仕事は、セミナーで知った転職フェアで面接を受けて採用して頂きました。転職で中途採用という事で、当初は少し不安でした。幸いにも、職場の皆様にあかく迎えて頂きました。ちなみに、この原稿にも上司と先輩からのアドバイスが活かされております。

あの時の周囲の支援があつてこそ、今の私がある。その事を忘れずに仕事に励んでいきたいと思ひます。現在の仕事はクリーニング全般を幅広く手がけております。洋服の汚れから、ビルの修繕までお困りの事がありましたら、ご相談下さい。

これから東海支部の活動をさらに活性化できる様に頑張る所存です。関東支部の皆様

がお元気で過ごされます事をお祈りしております。

関西支部だより

幹事 村田和隆（78回生）

78回卒業生の村田和隆です。土佐中・高校同窓会関西支部の仕事のお手伝いをする事になり、3年目になりました。私は、中学3年生から中央委員会の仕事をしていました。土佐高校に入学し、高校執行部の副会長をさせて頂いた、高校3年生では運動会の実行委員長をやりました。

その後、1年間浪人をして大阪大学工学部に入学しました。今は大学院2年生で、研究室に在籍し研究活動を行っています。今回は、私の在籍している研究室について書きたいと思ひます。

私の在籍している研究室は、工学研究科 電気電子情報工学専攻 情報通信工学部門に属しています。通信という電話やインターネットを想像される方が多いのではないのでしょうか。ですが、私たちの研究室は、雷についての研究を行っています。雷は、その進む道筋（放電路と言います）

が伸びていくときに、VHF波帯というアナログテレビ放送波と同じぐらいの周波数の電波が出ます。雷から放射された電波を研究室で独自に開発した機器で受信することにより、どこで雷が起ったか、またその雷がどのような形であるかを知ることが出来ます。私たちの研究グループは、その機器を用いて、雷の特性についての研究を行っています。

研究室での生活を紹介します。月曜日は、2週間に1回、当番制で朝8時から指導教授の先生と話をするアーリーバードミーティングがあります。そこでは、各人が先週1週間の出来事を1人3分ほど話します。夕方からは、談話会です。談話会では、毎週2人がパワーポイントを使って、自分の今やっている研究を研究室の教員の先生・学生全員の前で説明します。この場では活発な議論が起り、発表者はもちろんのこと、発表を聞いている人もいい刺激を受けています。

水曜日の午前中に輪講を行います。この研究室は、大きく分けて2つの研究テーマがあります。私の所属している雷研究グループと気象レーダ

を研究しているレーダ研究グループです。雷研究グループでは、雷の研究をまとめた英語の教科書を皆で読み、知識を共有します。その後、雷研究グループのミーティングをやります。この雷研究グループのミーティングは毎週行っており、5分程で先週までの進捗状況と今週の予定を説明します。

この研究室の一番の特徴として、海外観測が挙げられます。研究室では、毎年11月の初めから12月の終わりにかけてオーストラリアのダーウィンというところで雷の観測を行っています。ダーウィンは、世界的にも雷が多い地域です。また少し市街地から離れると住宅がほとんどなく、人工の電波が少ない雷観測に適した地域でもあります。宿舎は郊外にあり、一番近いスーパーマーケットは、車で時速100kmで走って約30分のところにあります。

私は、去年のダーウィン観測でリーダーを務め、42日間オーストラリアに滞在し、雷観測に従事しました。観測のリーダーを務めたことは、英語に常に触れられる環境にいることができ、また責任の

ある仕事を任せられていたの
でいい経験になりました。

このような研究室で研究を
しています。これからも研究
と同窓会の仕事の両方を頑張っ
ていきたいと思っています。

広島支部だより

会計幹事 小島 康(37回生)

関東支部の皆様にはお慶び
りなくご清勝のこととお慶び
申し上げます。

アメリカのサブプライムロー
ンの破綻に端を発した金融不
安に、世界的混乱が生じてい
ます。戦後の一時期を思い出
して、暗澹たる思いが致しま
すが、しかし戦後はまだ希望
があったように思います。今
は不安の方が大きい。

広島県の経済も大打撃を受
け、マツダは深刻な販売不振。
県議会で、公用車はマツダ車
と可決されました。広島電鉄
は、正社員の賃金を引き下げ、
非契約社員と同一賃金へ。今
時心打たれるニュースです。
明るいニュースとしては、
マツダスタジアム(新広島市
民球場)が4月10日オーブ
ニングゲーム。スポーツパー
砂かぶり席、ネソペリア、パー

ベキューコーナー等ユニバー
サルデザインに配慮した場内
は、二十七ものユニークな観
戦エリアを設けています。

さて、広島支部のご報告で
す。平成20年の総会は、平成
20年11月29日に例年どおり、
県民文化センターで開催され
ました。学校から池上校長先
生、本部各支部から6名のご
来賓をお迎えして、総会、講
演、懇親会の3本立てで、27
名の出席者と気満々の内に無
事終了しました。

総会では、校長先生からは
新校舎建築プロジェクトの進
捗状況と募金高のご報告、各



支部からも近況のご報告があ
りました。当支部は会員に会
計報告書を同封して総会案内
を発送しましたところ、年会
費の振り込みが増加しました。

また、尾道在住の山本紳幹事
(55回生)のお世話で、役員
が出前出張し、三原市、尾道
市、福山市の県東部の会員と
交流。同窓会の輪を広げる足
掛かりとしたこと等をご報告
させていただきました。

記念講演は、今全国的に最
も元氣な村、馬路村の上治堂
司村長(48回生)をお迎えし
ました。演題は「馬路村まる
ごとブランドづくり」。馬路

村の限られた地域資源(柚子、
自然、温泉)を最大限に活か
して、村全体を徐々にブラン
ド化してゆくご苦労話をお話
してくださいました。職員

の意見提案に耳を傾ける村長
さんのトップとしての懐の深
さとユーモアを解する姿勢が、
全職員のやる気を起こさせる
のだと感じました。講師が自
前で揃うというのも土佐中高
同窓会の凄さです。格調高い
お話でも、身内の和やかな雰
囲気が醸し出されます。現役
でご活躍されている方のお話
は、後進の育成となり、年配

者にはこれからを生きる縁と
なりましょう。

総会の翌日は、参加者9名
を錦秋の宮島にご案内。関東
支部からは、中村裕子さん
(37回生)がご参加。アツア
ツのみじまんじゅうを店先
でいただいたり、人混みの観
光ルートを避け、瀬戸内海と
朱の厳島神社を見下ろす山道
のアップダウンは好評でした
が、食物をねだって群がる鹿
に追いかけれ、鹿を蹴りな
がらの昼食となり、筆者反省
すること頻り。

平成21年の広島支部総会は、
11月28日(土)を予定してい
ます。少人数ならではの、和
やかな広島支部総会に、是非
ともご参加ください。

香川支部だより

幹事 大黒英男(46回生)

関東支部の皆さん、こんに
ちは。今年3月から高速道路
の、いわゆる千円化が実施さ
れましたが、どちらからお出
けになられたでしょうか。

高知・香川を各々四国では、
ゴールデンウィークまでの統
計では、大幅な入超となつて
います。高知では日曜日には

車が溢れかえり、日曜市周辺では駐車場を探す車の群れで、どうにもならない渋滞が生じていると聞きました。香川の状態はというと、かけうどん小200円以下の「讃岐うどん」を求めて、これまた800店はあるといわれる小さなうどん屋さんの周辺を車だらけにしています。そうしたなか、「常連さんや、周辺の住民の方に迷惑をかける」と、連休中は休業する名店も出る始末です。

また、私はあまり詳しくありませんが、香川は文化活動が結構盛んな所だといわれています。今、来年開催される予定の「第2回高松国際ピアノコンクール」「瀬戸内国際芸術祭」の準備で盛り上がっています。

「高松国際ピアノコンクール」の第1回の開催にあたっては、故中澤正良先輩(38回)が、NTTドコモ四国社長時代に、文字通り心血を注いで成功に導いたコンクールで、そのときの優勝者、ウクライナのバヴェル・ギントフ青年は、その後、世界の演奏活動で実績を積み上げているそうです。来年の第2回開催を前に、香川支部の会員もそれぞ

銀座7-12-4 友野本社ビルB1
電話3545-3855 銀座第一ホテル通り

れが、できるところで、できる協力をしていくつもりです。「瀬戸内国際芸術祭」は、瀬戸内海の島々の歴史や文化を生かした現代アートの活動や作品による国際的な芸術祭を行い、世界に向けて瀬戸内海を発信していく構想だそうです。

現代アートといえば、直島(行政上は香川県)の「地中美術館」をご存知でしょうか。安藤忠雄が設計した建物(半分以上は地下ですが)に展示された作品群は「だまし絵」の連続としか見えない、素養のない私が巡っても、この

「だまし絵」が大変楽しく、飽きることなく巡回することができそうです。興味のある方はご連絡ください。ご案内いたします。

先生、多くのの方々のご協力、学校のご理解、西峯先生も自らチェロを弾き、定期演奏会もすでに16回行われました。若い中高生と共に純粋のクラシックを語り、

お知らせ

土佐高オーケストラ部が今年東京で開催される全国選抜オーケストラフェスタに出場します。土佐高の出場はこれが3回目となります。12月に日本青年会館で行われますが、時期が近づきましたら、土佐高HPや関東支部HPで詳しい日程をお知らせします。

指揮者の松尾功祿先生のお手紙を掲出いたします。

—— 関東支部の皆さん、お元気で各方面にすばらしい活動をされておられることと思います。ご苦勞様です。私も土佐高に約45年間お世話になり、優秀な生徒にめぐり合い、充実した教員生活を過ごすことができました。感謝しています。その間、長い間念願のオーケストラ部が誕生し、音楽の松本

先生、多くのの方々のご協力、学校のご理解、西峯先生も自らチェロを弾き、定期演奏会もすでに16回行われました。若い中高生と共に純粋のクラシックを語り、

【母校及び同窓会本部・各支部一覧表】

- 土佐中学・高等学校 事務局 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10
(TEL)088-833-4394 (FAX)088-833-7373 (E-mail)tosa@tosa.ed.jp (HP)<http://www.tosa.ed.jp/index.html>
- 土佐中学・高等学校同窓会本部 会計幹事 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10
(TEL)088-833-4394 (FAX)088-833-7373 (E-mail)tosa@tosa.ed.jp (HP)<http://www.tosaobog.com/>
- 同窓会北海道支部 事務局長 山本隆昭 〒001-0018 札幌市北区北18条西6丁目 ARTE 88-305
(TEL)011-756-2817 (FAX)011-756-2817 (E-mail)yamat@den.hokudai.ac.jp
- 同窓会香川支部 事務局長 武山正人 (担当:大石浩) 〒760-8573 高松市丸の内2番5号 四国電力(株)
(TEL)050-8801-2720 (FAX) (E-mail)ooishi11737@yonden.co.jp
- 同窓会広島支部 事務局長 山崎迪子 〒732-0062 広島市東区牛田早稲田1-24-7-210
(TEL)082-227-2656 (FAX)082-227-2656 (Email)myamazaki@do2.enjoy.ne.jp
(HP)<http://www.geocities.jp/hiroshimashibu/>
- 同窓会関西支部 事務局長 原田和人 〒530-6001 大阪市北区天満橋1-8-30 OAPタワー1F アリコジャパン内
(TEL)090-1073-7822 (FAX) (E-mail)harada73@hotmail.com (HP)<http://www.tosa-ko.org/kansai/>
- 同窓会東海支部 事務局長 神宮美恵子 〒468-0075 名古屋市中区白鳥御幸山1201 御幸山パークマシソン B-301
(TEL)052-837-5834 (FAX) (E-mail)jjingu-m@crux.ocn.ne.jp
(HP)<http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/>
- 同窓会関東支部 事務局長 二宮潔 〒100-8222 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング
森・濱田・松本法律事務所弁護士市川直介 気付
(TEL)03-5223-7719 (FAX)03-5223-7619 (E-mail)naosuke.ichikawa@mhmjapan.com

今夏は高知で交流 ガーナ高校生研修旅行

公文敏雄 (35回生)

今年で第六回となるガーナ
高校生の日本研修旅行の地方
訪問場所が、三年ぶりに高知
と決まりました。

セントピーターズ高校生を中心とする男女高校生一行20名は8月21日に来日、東京で原宿スーパーよさこい祭り出場（8月30日「ロツテ・ガールよさこい連」）を含め都内高校生と交流のあと、31日に空路高知入りし、六日間滞在します。

期間中は、土佐中・高校訪問や生徒宅でのホームステイ、地元国際交流団体との交流、田舎訪問など、南国土佐をまるごと体験してもらおうと、学校や「ガーナよさこい支援会」、地元関係者の間で検討が進められています。

昨年の研修旅行の様子は、



2008年の「原宿よさこい」にて。

「筆山45号」(12月発行)で詳しく報告されましたが、土佐中・高生徒数名が土京して、ガーナや日本の高校生たちと原宿で踊るなど、意欲的に交流に参加してくれたのが印象的でした。この時出来た生徒間の絆は、メールのやりとりや、麻布校生の高知訪問(今年の春休み)、土佐校生の麻布学園祭見学(五月の連休)などで今も続いているとか。今度は地元を迎えることとなつて、交流を大いに盛り上げてくれることでしょう。

筆者も参加している支援会は、浅井和子さん(35回生)が大使としてガーナに赴任したのできつかけに作られたよさこいを通じて両国高校生の交流を支援し、視野の広い若者を育てて、国際親善と平和に貢献しようとするボランティア・グループです。私どもは、東京または高知での交流行事を手伝つてくださる方を募集しております。後記にご連絡くださると幸いです。

「ガーナよさこい支援会」
〒103-0094 千代田区紀尾井町4-13 マードレ松田ビル4F 浅井法律事務所
〒06-3234-3838
Eメール
kakaoasai@whi.te.plala.or.jp

◇須藤靖（すとう やすし）

東大大学院理学研究科教授

天文学——の著書が、今まで出版レーダーで拾われていなかったもので、ある程度まとめ紹介します。もちろん著書の一部しか拾っておりません。沢山が、一般向けの解説本も沢山著されているようです。

「宇宙の大構造—その起源と進化—」 培風館 1992年

「ダークマターと銀河宇宙」
丸善 1993年

「一般相對論入門」

日本評論社 2005年

「ものの大きさ―自然の階層
・宇宙の階層」

東京大学出版会 2006年
『宇宙は『地球』であふれて
いる』

技術評論社 2008年

「宇宙生物学入門―惑星・生命・文明の起源」(共訳)

同
シュプリンガー・ジャパン

「解析力学・量子論」

東京大学出版会 同

チバリと須藤氏の研究に関する資料を眺めさせてもらいました。ダークマターならぬダークエナジー(万有斥力)という概念が興味深かった。昔読んだ宇宙論の解説本でアインシュタインの宇宙定数(万有斥力)というものを知ったが、ハッブルによる宇宙の膨張の発見でアインシュタインは宇宙定数を引いたのだ。その宇宙定数の復活か？

このほど、17回生の故伴正一先輩の生涯を描いたノンフィクション『政治の風格』——総理をめざした外交官、伴正一の生涯——という作品が刊行されました。（高陵社書店 5月28日出版）。

幼少期から戦中、戦後、そしてお亡くなりになるまで、伴先輩の生涯が克明に描かれています。中澤薫先生に学んだ伴先輩、宮地貫一先輩はじめ幾人かの大先輩方のお名前も登場します。

既に関東支部HPにも掲載しましたが、関東支部HP編集長からの情報によれば、ご長女伴美喜子さんは高知工科大国際交流センター長をなさっております。先日、高知で出版記念会があったそうです。

〔二宮潔（49回生）〕



「政治の風格」
—総理をめざした外交官 伴正一の生涯—
吉岡 逸夫 著
四六判 208 ページ
定価：1470 円
高陵社書店

真に日本を思ふ志を持った武士がいた。その名は伴正一。彼は、子どものころから、総理大臣になることを夢見て、実際に行動を起こしていた男である。それは、権力欲からでも私欲からでもない。純粹に日本や世界のことを思つてのことである。

彼は、旧制土佐中学を卒業後、海軍経理学校を経て、太平洋戦争で海軍士官として戦艦に乗り込み、マリアナ沖海戦などに参加。終戦後、東大法学部を卒業し、弁護士になるが、外交官試験に合格して外交官になる。

その後、青年海外協力隊の事務局長、中国公使などを歴任し、56歳の時に日本の政治をなんとかしなくてはいけないという思いにかられ、一念発起して政界進出を試み、三度挑戦するも失敗に終わる。

本書は、「少年よ大志を抱け」を実践し続けた男、伴正一の生涯の物語である。

★出版レーダー★

田島征三 (34 回生)

「オオカミのおうさま」 1470 円 偕成社
「太閤記」 2100 円 童心社
「ケンケンとムンムン」 1680 円 福音館書店
大橋一章 (36 回生)

「奈良美術成立史論」 3465 円

中央公論美術出版

西村繁男 (40 回生)

「おでんむらゐり ちづわのまき」 1155 円

くもん出版

杉山雄一 (41 回生)

「最新トランスポーター研究」 5600 円

メデイカルドゥ

坂東眞砂子 (51 回生)

「異国の迷路」 380 円 新潮社
「子猫殺し」を語る 1785 円 双風舎
「見知らぬ町」 1575 円 岩波書店

森岡正博 (52 回生)

「33 個の石」 1575 円 春秋社

門脇護 (53 回生)

ペンネーム 門田隆将

「こだわり人物伝 2009 年 4・5 月 伝説になった横綱たち」『品評』の系譜 ヴィクトル・スタルヒン・野球がバスボートだった」 690 円 NHK 出版
「甲子園への遺言」 680 円 講談社

英保未来 (54 回生)

ペンネーム 大森望

「大は勘定に入れません 上」903 円 早川書房
「大は勘定に入れません 下」903 円 早川書房
「ヘミングウェイ」 735 円 早川書房
「虚構機関」 1155 円 東京創元社
「エンジン・サマー」 980 円 扶桑社

森岡浩 (55 回生)

「発見！日本一楽しい名字の地図帳」 500 円

イースト・プレス

「よくわかる 長野県の名字」 1680 円

しなの書房

森澤隆男 (38 回生)

ペンネーム 河田蒼龍

「花と刃 三 維新戦争」945 円 文芸社
「花と刃 三 西南戦争」945 円 文芸社

文芸社ビジュアルアート

「ここからは雑誌に掲載されています」

公文俊平 (28 回生)

「情報社会の未来は開けるのか？」(特集 第25回国際コミュニケーション・フォーラム グローバル化する情報社会と情報通信の変容) 情報通信学会誌 26(3) (通号 88) [2008.12]

鍋島高明 (30 回生)

「実録 相場師 栗田嘉記(2)「桑名筋」に代わる「静岡筋」時代、中井幸太郎や角田純一の支援で再起」 Futures Japan. 9(2) (通号 91) [2009.2]

岡村甫 (32 回生)

「第16回学術講演会報告 都市住宅学会・第16回学術講演会・公開市民フォーラム 地方大学の再生とまちづくり」地域が経営する大学を目指して」コンクリート工学 47(1) [2009.1]

尾池和夫 (34 回生)

「達人対談 地震の達人 尾池和夫 VS ヒートたけし」 新潮 26(5) (通号 325) [2009.5]

野田正彰 (37 回生)

「虜囚の記憶を贈る(最終回)慰安兵にされた植民地女性」 世界 (785) [2008.12]

[Special Interview 2008 第8回]

柿田睦夫 (38 回生)

「マルチ商法の仕組みと良」女性のひろば (339) [2009.1]

塩田潮 (40 回生)

「戦後憲法政争史(第28回)自民党「改憲」の自縛 新草案も安倍退陣で幕 国民が学んだのは境界」 ニューリーダー 22(5) (通号 259) [2009.5]

「戦後憲法政争史(第27回)密着協議が生んだ森内閣 第七〇条を巡る神学論争 総理大臣が「欠けたとき」」 ニューリーダー 22(4) (通号 258) [2009.4]

「戦後憲法政争史(第26回)「水と油」の自杜政権誕生 村山首相が呑み込んだ現実 自衛隊合意で社会党は沈没」 ニューリーダー 22(3) (通号 257) [2009.3]

「戦後憲法政争史(第25回)衆参対立日常化の攻防劇 細川内閣「政治改革法案」政争の具となる憲法第四章」 ニューリーダー 22(2) (通号 256) [2009.2]

「戦後憲法政争史(第24回)護憲派の旗手だから、憲法解釈大転換を阻止した宮澤喜一の「PKO法案」」 ニューリーダー 22(1) (通号 255) [2009.1]

「戦後憲法政争史(第23回)一九九一年「湾岸戦争」勃発 経済的協力か自衛隊派遣か 小沢一郎が見せた憲法解釈」 ニューリーダー 21(12) (通号 254) [2008.12]

「この人に聞くなぜ日本は変死を迫窮しないのか 事件から感染症まで「死因究明」は国民を守る」 ニューリーダー 21(11) (通号 253) [2008.11]

「FOCUS政治 次の首相候補を明確にして戦え」 週刊東洋経済 (6198) [2009.4.25]

「FOCUS政治 民主党の敵失で 麻生氏はどう攻める」 週刊東洋経済 (6194) [2009.3.28]

「FOCUS政治 崩壊寸前の麻生政権 正統性なき内閣自ら露骨な墓穴」 週刊東洋経済 (6189) [2009.2.28]

「FOCUS政治 自壊する自民党 再生に向けた議論を」

週刊東洋経済 (6184) [2009.1.31]

「防衛省大研究！自衛隊は「暴走」する」 諸君 [2009.1]
「人気急落、経済大乱で誤算。解散先送りでも活路は見えず」ブルジョア宰相 麻生の「お」リト焦り」 プレジデント 46(25) [2008.12.1]

杉山雄一 (41 回生)

「学部長に聞く 東京大学大学院薬学系研究科 研究科長 薬学部長 杉山雄一先生」 薬学進路 35号 [2009.6]

高山宏 (42 回生)

「ザッツ・キヤラタリスティック」氣質文学東西 (特集 上田秋成 没後200年) 文学 10(1) [2009.1.2]

宮崎等 (49 回生)

「心気症・身体表現性障害(患者さんの背景・病態で考える薬の選び方・使い方のエッセンス) (心身・精神)」 治療 91(1) (増刊) [2009.4]

門脇護 (53 回生)

ペンネーム 門田隆将
「なぜ私は裁判員制度に期待するのか」 正論 (通号 446) [2009.5]

「スポーツドキュメント「あの一瞬」(新連載・1)極限の緊張状態を凌駕した「加藤沢男」逆転のウルトラC」 新潮 26(5) (通号 325) [2009.5]

昭和三十三年、学習院の奇跡 本 34(2) (通号 391) [2009.2]

「『司法の壁』を突き崩す新著紹介 異能の法律家による「告発書」「井上薫著」「裁判官が見た光市母子殺害事件」天棚板に疎にして逃さず」 本の話 15(2) (通号 165) [2009.2]

「知る権利 言論・表現の自由は守られるのか(事件報道と裁判員制度) 調査情報 第2期 (48) [2008.11.12]

英保未来 (54 回生)

ペンネーム 大森望

「ロングインタビュー 有川浩「三匹のおっさん」」 新刊展望 53(5) (通号 762) [2009.5]

「大森望の新SF観光局(第4回)当節オリジナル・ファンロジ事情」 SFマガジン 50(4) (通号 636) [2009.4]

「大森望の新SF観光局(第3回)年刊SF傑作選のこぼり方」 SFマガジン 50(3) (通号 635) [2009.3]

「大森望の新SF観光局(第2回)年刊SF傑作選のベスト・イヤーズ」 SFマガジン 50(2) (通号 634) [2009.2]

「大森望の新SF観光局(第1回)バリン・トン・J・ベイリーのいない世界」 SFマガジン 50(1) (通号 633) [2009.1]

「本年度2008年度ヒューゴー賞受賞ノヴェラ一挙掲載 もうひと大地に坐して」 SFマガジン 49(12) (通号 632) [2008.12]

「決定「最強の本」ベストテン2008 メガネルが大豊作」 週刊朝日 113(65) (通号 4922) [2008.12.26]

「日本小説の現在 現在時の日本小説をめぐる(早稲田大学十時間連続シンポジウム小説・批評・メディアの現在と未来をめぐる)」 早稲田文学 [第2次] (2) [2008.12]